



福島県白河市の鈴木和夫市長（写真左）から、同市がゴルフ専門の雑誌「BUZZ GOLF（バズゴルフ）」とタイアップして制作した同市と町の観光スポットや銘菓などを紹介する冊子を5千部いただきました。この冊子は、町内の道の駅など観光施設やゴルフ場に配置しています。（2/22 特別会議室）



JAなすのから給食で使うランチョンマット約150枚（新1年生分）をいただきました。菊地秀俊代表理事組合長（写真左）は、「マットには、県の農産物が描かれています。好き嫌いをせず、お米もいっぱい食べて、学校給食を楽しんでほしい」と話し、平久井教育長は、「給食の時間を大切にし、食育にも取り組んでいる中で、このようなマットを毎年いただけることに感謝しています」とお礼を述べました（3/22 教育長室）



支え合いながら共生する 地域社会の実現へ

2月26日、町は、手話への理解促進と普及に関する基本理念を定める「町手話言語条例」を制定しました。県内では5番目の制定です。この日、栃木県内の聴覚障がい者、手話を使うろう者のために活動している（一社）栃木県聴覚障害者協会内の那須塩原市聴覚障害者協会の皆さんが傍聴されました。

教室にいるのに魚と会えた!

2月26日、東陽小学校でNTTドコモが提供する遠隔地でのあらゆる体験を実現するアバターロボット「newme（ニューミー）」を活用して社会科見学が実施され、児童たちが画面越しになかがわ水遊園の生き物を観察しました。

2年生の平山月樺さんは、「自分でロボットを動かすのが楽しかった。魚をいっぱい見ることができて、水族館に行った気分になれました」と満足そうでした。



画面になかがわ水遊園が映ると児童たちから大きな歓声！
なかがわ水遊園のスタッフから生き物の話をたくさん聞きました

那須中学校 立志式



3月15日、那須中学校で2年生の立志式が行われました。榎雅宏校長は式辞で、「将来の夢や希望を新たに思うが、その中に、誰かのためという自分も重ねて思い描いてほしい。行動する原動力になる」と生徒へ励ましの言葉を贈りました。また、2組の大森姫奈さんが生徒を代表して誓いの言葉を述べ、「これからは最上級生として多くの事に挑戦し、将来の夢を明確にして、実現していきたい」と力強く宣言しました。その後、保護者から生徒へ、たくさんの思いを込めた手紙がサプライズで手渡されました。